

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きりしま総合発達支援センター わかば 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 28日		～ 令和7年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	143名	(回答者数) 41名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 28日		～ 令和7年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されている。	・定期的に専門職が評価を行い、評価を個別支援計画に反映させている。また、個別支援会議には出来る限りスタッフが参加し、意見を出すようにしている。	・活動プログラムや日常の情報を関わるスタッフで共有していきたい。
2	・生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	・子どもの活動に合わせて部屋を選択したり、環境を調整したりしている。(物をたくさん置かない、遊具のある部屋を使う等)	・不安が強い子に対しは、安心できる環境づくりなどをスタッフ間で話し合いながら進めていきたい。
3	・保護者へ共感的に支援を行っている。	・送迎を保護者へお願いしていたり、保護者同室のこともあるため実際の療育場面を見ながら話すことができる。また詳しく保護者の話を聞く機会が持てる。	・場合によっては、別日の相談も受け付け、より丁寧に話しを聞く時間も取る必要がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っている。	・今まで計画は上がっていたが、実行までに至っていないかった。	・来年度、事業所全体で取り組む予定がある。
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援。	・徐々に家族支援を行ってきており、就園前の座談会・就学前の学習会内での情報共有の場・就労に向けての座談会等は毎年開催し交流の場を設けていた。また、今年度新たに家族会の企画として、年3回自由に話しができる場を作り、開催できた。	・きょうだい支援として今年度絵画教室開催の予定がある。
3	・支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	・時間を取る事が難しい。	・特に配慮が必要な子や危険な行動が予想されそうな子の場合は予定表を確認して、情報を共有したい。